

ゴールデンウィーク
8月の黄金週間

おばあちゃんと遊ぼう!



成人向け
FOR ADULT

目次

4p カルラおばあちゃんのビデオレター ラヂヲヘッド

7p 百合夫とおばあちゃんの×××な一週間 ラヂヲヘッド
(28p 小説 神谷 涼)

52p トリノ宗肉

53p 百合夫くんとおみかんきゅん チンズリーナ

57p MARIO

63p でっこ

65p 蔵屋

69p 彗星ペンギン

71p こへ

74p たくマ

76p 沈没

78p 夏休み特別企画!ブタエルフのダイエット教室 トヤマル

83p ざるそば

85p しのぎき嶺

注意・免責事項

- ・18歳未満の未成年の購入・閲覧を固く禁じます。
- ・本誌の無断転載、およびWEBへのアップロード等を固く禁じます。

上記の2点を侵したことによって起こりうるあらゆる問題の責を
当サークルは追わないものとします。

また本誌の登場人物はすべて18歳以上の成年です。
念のため。

ふむうっ……んっん——っ!!
わっわっ おはあたんの尻の穴が…

ふんっ!!
ふんっ!!
ふんっ!!

ひやっ!! ああのおはあたんが
こんなおつきなおならするなんてっ…

んくっ…だんだん奥の方から出てきよったぞ…
たんと溜め込んだおはあちゃんの糞がのっ…
これからカメラの前に「ん」にちは「するから
よく見てくりやれっ!!

みちっ…みちみちっ…

はあっ…いっしょのお上のなおキツネさま顔を
情けないくらい尻の下伸ばした

みっともない淫乱サル面にしちゃってっ…
ほっ、ほんとにおはあたんうんこ大好きっ子に
生まれ変わっっちゃったんでっお…!!

(んんんんんんんん)

んおおおお…っ…二氣に降りてきよったっ…!!
さあっ…これからおはあちゃんの極太「本糞」
可愛い尻の目の前にひり出すぞっ…
よく見てくりやれっおはあちゃん…!!

ふんっ!!
ふんっ!!
ふんっ!!

んんんんんんんん
んんんんんんんん
んんんんんんんん

かっ、

がっがっ

一四ヶ月前

ゆ…百合夫
後生じゃから

はあ
はあ

お主のその桃尻で
わらわの童貞
切つてくりやれっ!

な?
な??

はあ

いいじゃろっ

…ダメでつよお
おばあたんっ

ココって
うんちが出てくる
穴でつよお?

うんちっ♡

もしボクと
セックス♡
したいなら…

うんち大好きっ♡
うんちと友達っ♡

…って言える
くらいになつて
くだたいねっ♡

もぞ…

う…っっ
うんち…!?

そっ!

うんちでつ!
だつてココ
肛門でつよお?

うっ…
うんちと友達
…かや…?

そんなん…
一体どうすりや
いいんかえ…

そこはおばあたんが
考えて工夫して
くだたい♡

もしそうだったら
やらせてくれる
のかや…?

もっろん
でつよお♡

そして八月

都会から
電車で5時間—

バスを2度
乗り換えて
2時間—

ゴトン
ゴトン

山間の小さな
この村で、神様を
祀る祈禱師を
しながら

カルラ
おばあさんは
暮らしていまっ

ラチヨヘッド

ふたなりで
童貞の—

ポクの
おばあたん♡

久しぶりじゃ
のお 百合夫

長旅で疲れた
じゃろ？ まずは
一休みせえ

はいっ！



おばあさんの送ってきた
排泄シーンDVD…
どう見ても自画撮り
でしたけど…

今こうして見ても
信じられないでつね
前と同じお上品な
おばあさんのままでつし…



まあいいか
慌てなくて

あと一週間
あるんでつし…



夏といつても
夜は冷え込むのに
しょうのない子
じゃのお…

どれ おばあちゃんが
温かアい”お布団”
かけたげるかの♡



おやおや…

カア

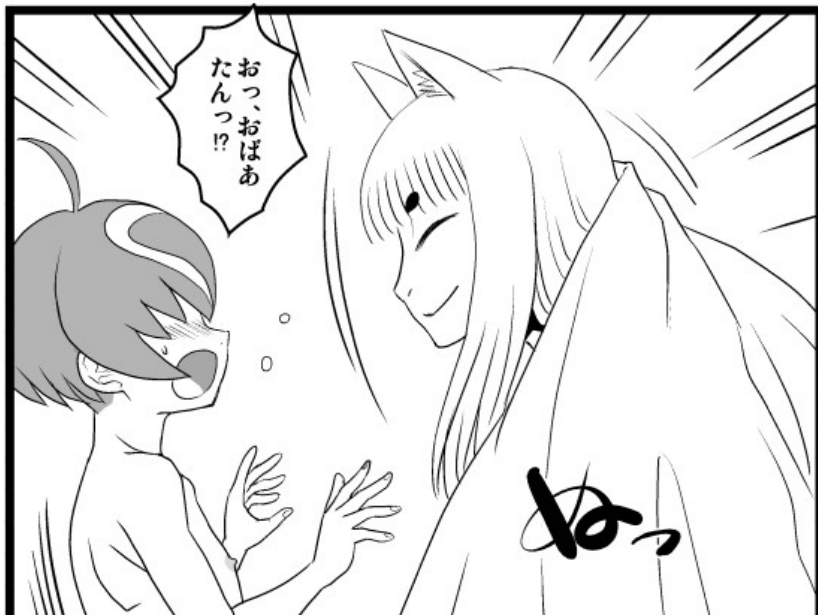
居眠りして
しまったのかえ？

カア

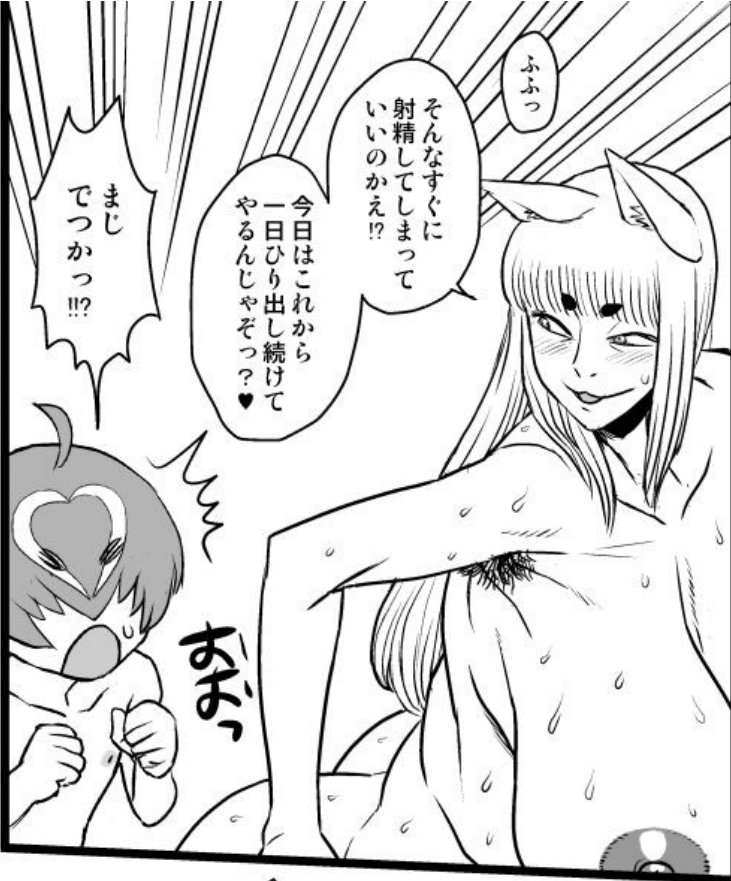
カア

おがま♡









こんな立派な巻き
うんこっ♡初めて
見たでつよおっ♡

ホクもう射精
しちゃいそう
でつっ!!

すごいっ!

そんなすぐに
射精してしまつて
いいのかえ!!

今日はこれから
一日ひり出し続けて
やるんじゃぞっ♡

まし
でつかっ!!!

ふふっ

まっ



すっかすっか



よよーし
じゃあつ

今日はボクも
一日出しまくり
まっよおっ!!

おおっ!
さすがはわらわの孫
たのもしいのうっ!

屋敷中糞で
パンパンにするまで
ひり出そうぞっ♡



ふふん
わらわを誰じゃと
思つておる!

村の産土神
華楼羅様の
依り代じゃぞっ!



ほれっあつち
からじゃっ♡

はいっ!



つまり村の中では
わらわは
生き神さまっ!

ひとりきりなんて
みみっちいことは
言わん! 無尽蔵に
糞ひつてやるわい!!!

かかか

うんこ♡





ウンコ
孕ませえっ♡♡

みてみてっ♡
おばあたんっ♡



おばあたんの
うんこっ♡肌
触り最高でっ♡

ムチムチ
しててたまんない
でっよおっ♡



ああっ
もっもうっ
おばあたんの
うんこの中で出し
ちやいまっうっ!!!



おばあたんのうんこ♡
ミルクマーキングして
全部ボクのモノにしちや
いまっからあっ♡♡





ふんふん
ささつ今度は
お主の番じゃぞ
はよせんかつ♡

もうっ鼻息
荒すぎてっ
よおっ…♡

おおろっつ♡
見事な一本足
立ちグソじゃ!!

カ士顔負けに
大兵肥満なケツ穴
じゃのっ…!!♡

はあ♡はあ♡

おっ♡

んまっ♡

グッ

グッ

グッ

グッ

やああんっ♡
そんなこと言われたら
恥ずかし嬉しくて
うんこ止まらない
でっうっ♡



百合夫おっ!
どっちが高く
ウンコひり飛ばせるか
勝負っ!! じゃっ!!!♡

グッ

グッ

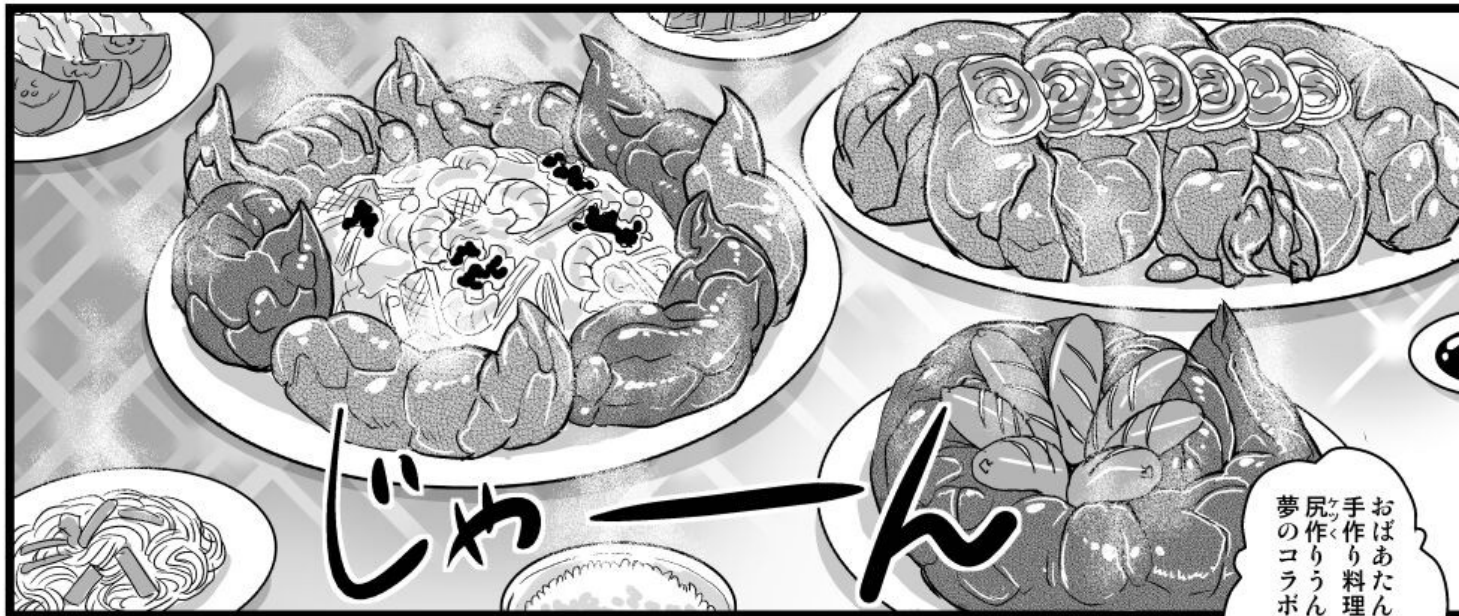
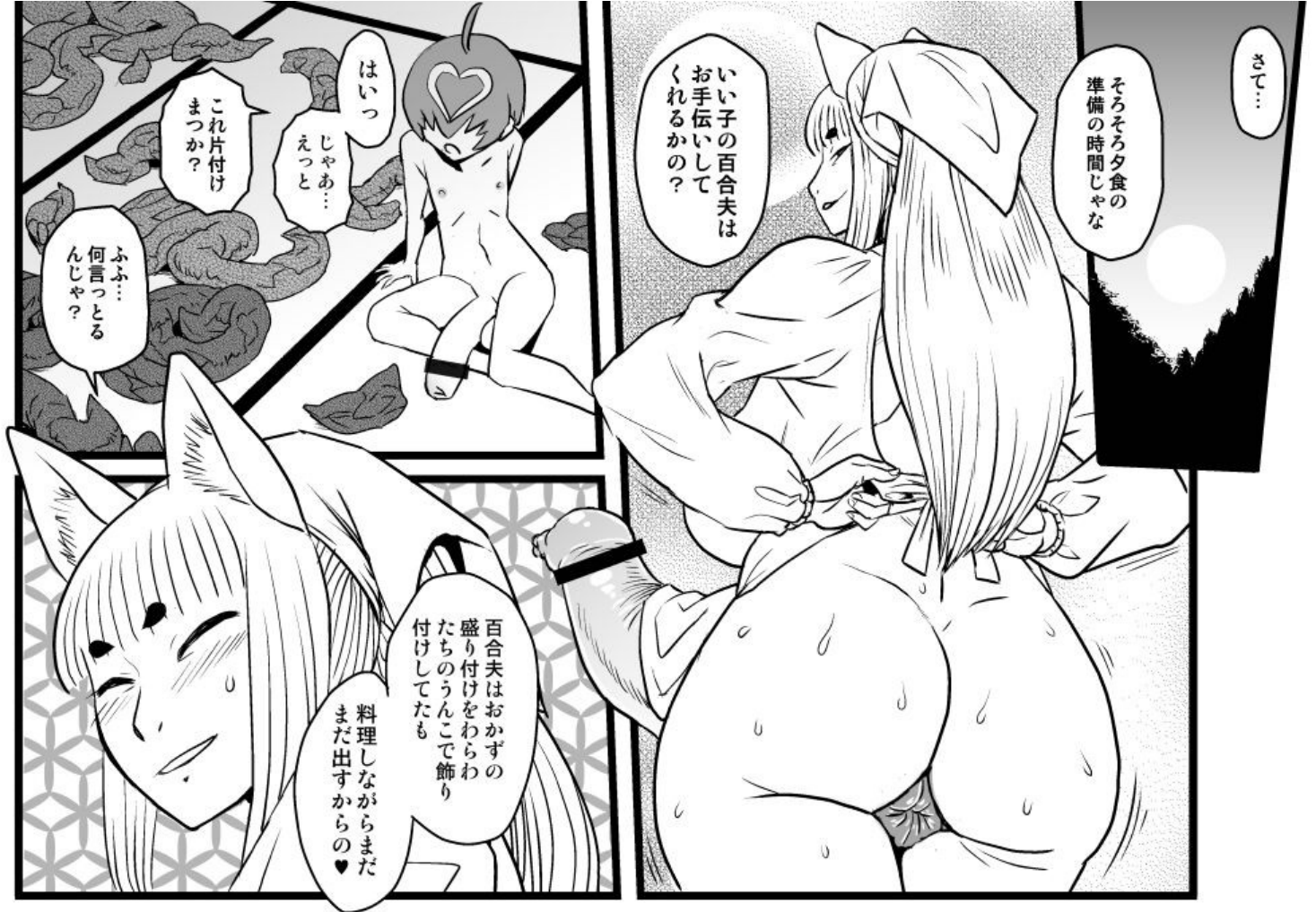
負けない
でっよお♡
おばあたんっ!!!♡

グッ

グッ

グッ

グッ



ジワジワジワジワジワジワジワ

今日は裏の御山の川までビクニックに行くことになりました

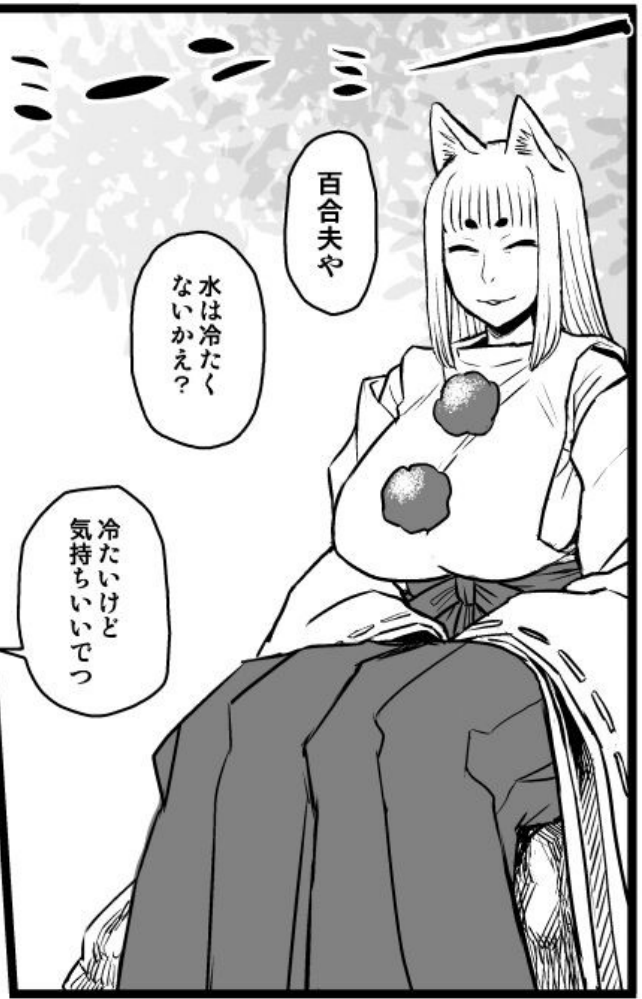
御山には村の神様華楼羅様が祀られていておぼあたん以外には禁足地になつてゐるんでつが…



でもあの…

なんか生えて来ちゃつたんでつけど…

しゅぽ…



百合夫や

水は冷たくないかえ？

冷たいけど気持ちいいでつ



カワイイ狸の耳しゅぽ♥

わらわにも耳だけじゃのうて尻尾が生えてきよつたわい

御山は神気が強いからのわらわの血を引くお主も影響受けたんじゃろ

だつたらおぼあたんと同じキツネが良かったでつ…



そ…
 そんなスゴイの
 見せられたら
 ホクもたまらなく
 なっちゃうまっよお…

むく
 むく♡



…ふふ
 たまらんと言えは
 そろそろ溜まって
 きたんじやないかえ？

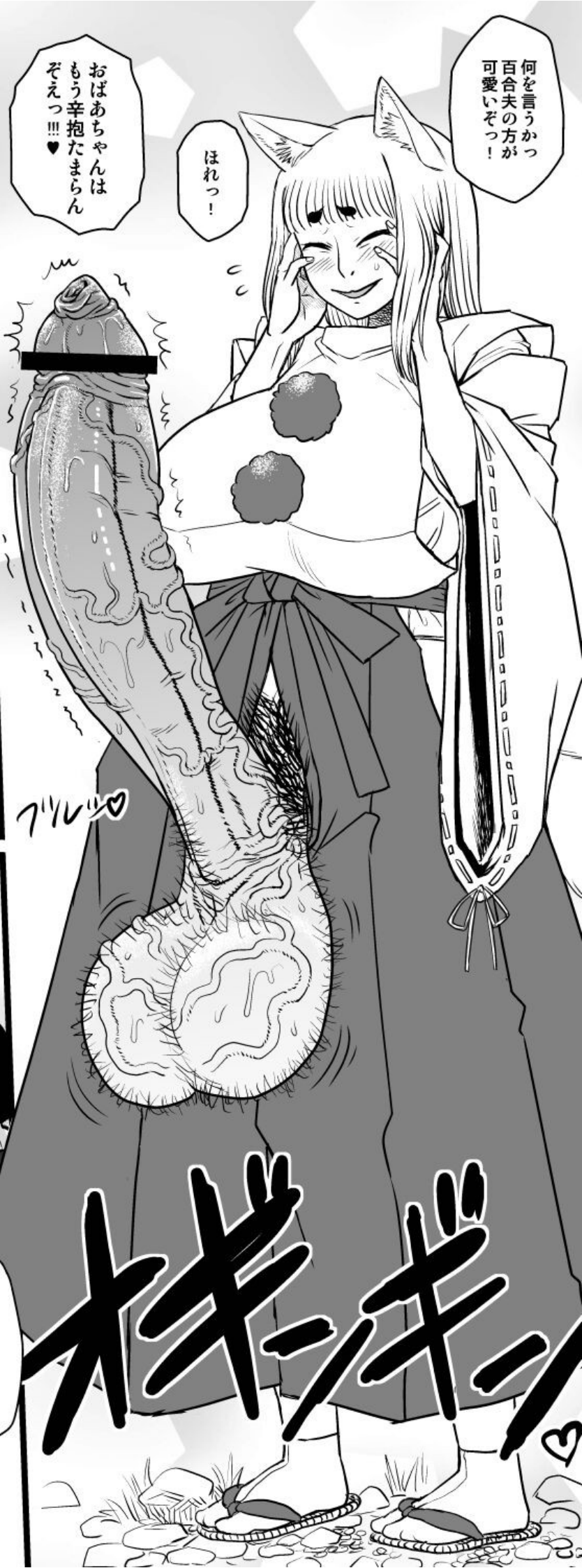


うーん
 う
 でも御山
 汚しちゃって
 いいんでつか？

う…うわっ
 何あれっ！
 ひそ
 ひそ
 みう
 ちゃんっ
 早く逃げ
 ようよおっ！
 ひそ



どれ
 わらわも脱いで
 一緒に仲良く
 ひり出すかの♡
 じゅば
 じゃば
 華楼羅様はそんな
 小さなことをお気に
 なさる神さんじゃ
 ないぞえ！
 むしろお主のような
 可愛い童子の糞なら
 大歓迎じゃ♡
 は
 ではいつ



何を言うかつ
 百合夫の方が
 可愛いぞっ！

おばあちゃんは
 もう辛抱たまらん
 ぞえっ!!!♡

ほれっ！

フワッ♡

株ギ



一時間後...



さらに一時間後...





帰りたくないっ
ここで一生うんこ
と暮らすうっ♡

やだやだあ...
もっとうんこで
遊びたいよお♡

ぶっ♡

むっ...♡



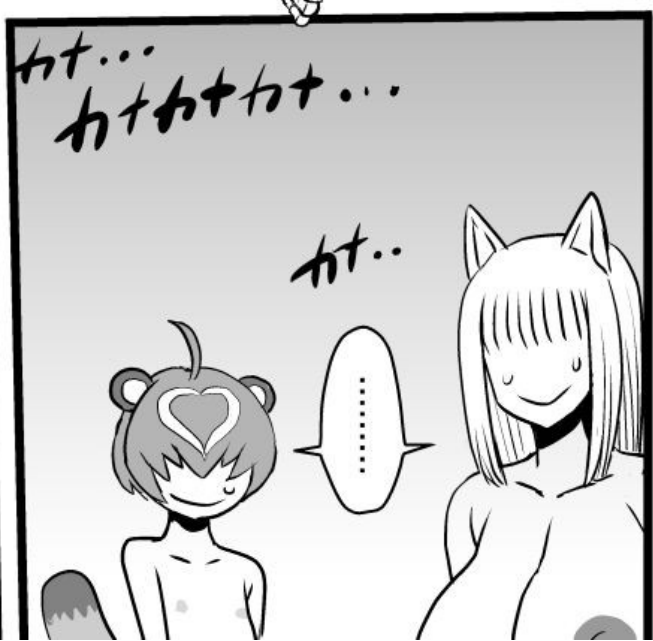
あ...ああ

まあ...そのー
ちとやりすぎた
かのう...??

仕方ない 家には
適当な理由を伝えて
今日は一晚わらわ
たちで面倒みるぞえ

満足して失神
するまでの...!!

でたとこ勝負
すぎでつよ
おばあたん...



かた..

.....

いやはや、愛らしい子らであつたのう。また遊んでやらねばなるまいて」
 迎えに来た親に子らを預け、見送つた後。

「麦茶を注ぎ、舌なめずり混じりにカルラが呷く。
 「でも、あんな子たちにあそこまでやつちやつて、よかつたんでつか？」

「身内外に臆病な百合夫は、不安げな色を隠せない。

「おお？ 何を言つておる。わらわをこのように染めたのは、百合夫であらうに」

「いや、それはそれでつけど、それとこれとは」

「元々が臆病な百合夫はそれでしどろもどろになつてしまふ。

「しかし、百合夫がこうなつてしまふた理由の一端は、わらわにもあるからう」

「そりやま、おばあさんの孫でつから」

「そういう意味ではないんじやがの」

「照れる様子の百合夫に、カルラが一言ぼつりと呷やいた。

「他にも何かあつたんでつか？」

「おお、さすがの百合夫も覚えてはおらんか。まあ仕方あるまい。ようやく乳離れしたかせぬかといつた頃じやからのう」

「？」

「何、あの頃は、わらわも溜まつておつてのう。気持ちよさそうに寝ておる百合夫を見ると

「つい、こう、むらむらつと来てしまつたんじや」

「ちよ、ちよと待つてつっ！ いったい何をしたでつかつ！」

「これには、さすがの百合夫も前髪の下で目を剥くしかない。

「ほほほ、皮を剥いたチンポを突き出してやると、百合夫が美味そうに吸つてくれている。

「思えばあれが、わらわ自身以外の唇が初めてここに触れた瞬間であつたかのう」

「はや……」

「恥じらいながら、亀頭に先走りを広げるように、"のの字"を書くカルラ。

「そんな様子について見とれてしまふ百合夫。

「わらわの恥垢まみれの亀頭をちゅばちゅばと吸つてくれたのが、昨日のことのようじや

「……母乳しか飲んだことになつた百合夫の、あれが離乳食じやつたのやもしれんなあ」

「ぼくが、おばあさんの恥垢を……」

「怒るよりも前に、ごくりと喉を鳴らしてしまふ百合夫だが。

「齒も生えそろつておらんに、美味そうにわらわの恥垢を舐めてつてきての。わらわにとつては初フェラじやというのに……百合夫ときたら容赦を知らん」

「えつ、おばーたんフェラもされたことないでつかつ」

「ただでさえ立派な逸物を持つカルラである。

「黙つていても、老若男女問わずしゃぶりついてくる者はいるであらうに。

「ほほ、知つての通りこつちはほとんど触れておらんからのう。己の指と舌がせいぜいじや

「わい」

「長大なものは少し首を傾げるだけで唇まで届く。

「百合夫を挑発するように、カルラは長く舌を伸ばしてその勃起した亀頭を舐めて見せる。

「んふ……ふふ、鈴口の中までチロチロと舐めおつてのう。己の舌しか知らん、わらわのこ

「には刺激が強すぎじや。玉袋などもう、きゅんきゅんじやつたぞ。子種が後から後から造ら

「れてもう、止まりはせんかつたわい」

「ちつちやい僕に、そんなことしてたなんて……おばーたん、変態すぎでつよう」

「変態なわらわは嫌いかの？ チンポは立派に反応しておるようじやが」

「そんなわけないでつ！ 変態大好きでつよっ！」

「ほほほ、それはよかつたわい。いや、その後で百合夫の母に見つかつてえらく怒られたからのう」

「けらけらと笑いながら言うカルラに、百合夫がきよとんと呆ける。

「えつ？ おばーたん、そういうので、そんなに怒つてたでつか？」

「百合夫の母とて、そこまで常識人ではなかつたと思つたが……」

「怪訝に思いつつ、百合夫は麦茶を口に運んだ。

「うむ、さすがに百合夫がわらわの精液で溺れてしまつたからのう。乳幼児にあの量はちとつらかつたやもしれん」

「ぶーっ！」

「さすがの百合夫も噴かざるをえない。

「な、何しててでつかつ！ 口の中に出すとかサイズのありえないでつよっ！」

「そうは言つてももの……百合夫がわらわのものを離してくれなんだし……百合夫も先

「をちゆうちゆう吸うて、気持ちよくしすぎるのがいかなんじやぞ？」

「な、なんでつかそれはつ」

「過去の記憶を思い出しつつかつといえ、発情した顔でそんなことを言われて平気な百合夫ではなく……」

「そんなわけで、百合夫が初めて飲んだ精液はわらわのものなのじや。それも溺れかける

「くらいにのう……しかし、あんな目にあつても精液嫌いには育たずいてくれて嬉しいぞよ

「ウンコが好きになるとは意外じやつたが……他ならぬ百合夫の頼みじや。この夏は、存分

「にわらわのウンコで百合夫を染めてやらねばのう」

「ひや、ひやわー、ぼ、僕だつて、おばーたんのこと、ウンコで染めてやるでつっ！」

「ほほほ、これはよいわい。では、一晩溜めたものをお互い、絡ませあうとするかのう」

「にんまりと笑うカルラの顔は、心底それらを愛する変態の貌であつた。

「んう……つと、ウンコが先に百合夫の菊を貫くことになるのはのう……我が糞ながら妬

「ましいわい」

「ウンコで犯されたがつてたのは、おばーたんじやないでつかーっ」

「布団の上、開いた脚を交差し、互いに菊座を擦り付け合う祖母と孫。

「周りには既に出し合つた糞便が散らばり、互いの肌にもすりつけ合わされ、飛び散つた

「精液の跡がある。何度も戯れた二人の今日の仕上げは、互いの肛門をそれぞれの糞で犯し

「合う、交流便遊びであつた。

「押し付けあう陰囊は、内から膨らませ造り上げる多量の精液の気配を互いに伝え、吐精

「と菊悦の予感にじんじんと火照り、さらなる精を造る。

「汗ばんだ尻肉同士が張り付き合い、互いの菊座が吸い付き合う。

「よ、ようし……よいか？ そろそろゆくぞ？」

「い、いいでつよう……おばーたんのウンコ、太いから入れ甲斐ありまつ……つ！」

「互いに発情しきつた顔を見合わせると。

「んむつ……ほおーっ！」

「カルラがまずはいきみ、みちみちとその肉棒にも劣らぬ太さの便を、ひり出し始める。

「きひい、さ、さすがでつ……」

「きひい、さ、さすがでつ……」

「きひい、さ、さすがでつ……」

「きひい、さ、さすがでつ……」

「きひい、さ、さすがでつ……」

「きひい、さ、さすがでつ……」

「きひい、さ、さすがでつ……」

「きひい、さ、さすがでつ……」

「きひい、さ、さすがでつ……」

アナルを何とか開き、その便塊を唾えとろうとする百合夫。

吐き出される便は、カルラの遠慮ゆえかゆつくりとしているが……それでも確実にみちみちと百合夫の菊座を押し開いてくる。

「うひい、き、きまつ……！ 入ってきまつつ！ おばーさんのつ、入ってきまつよう！」

「んおつ……ち、力をぬくんじゃ……百合夫つ、一気にやっつけてしまうぞよ……つ！」

「カルラがじわじわとした排出を一気に強める。」

「きいひいひいひい！」

百合夫のアナルを拡げていたものが、一気に中へと押し込まれた。

たまたらず叫び、背をそらす百合夫。

祖母のどこか優雅さを感じさせる糞便が、みっちりりと百合夫の直腸を貫く。それは十分な固形でありながらぬるりとした表面で腸壁を撫で回すようにしてくるのだ。

十分な太さを持つそれは、百合夫の菊座に綴じること許さず、みりみりとまだまだ入り込み、尻穴を陵辱していく。

「ど、どうじゃっ！ わらわのウンコに犯された気分はあー！」

汗まみれになって上気した顔で叫ぶカルラの肉棒はびんびんと跳ね、目の色も尋常ではない。念願の百合夫の尻を、便でとはいえず高揚感に酔っているのだ。

「おほっ、しゅっ、しゅっ……いっ！ きついでつよう！ で、でも次は、僕の、番でっから……ねっ！」

続いて百合夫がいきみ、己の中にあるものを繰り出す。

若く、そして都会で肉類を食うことも多い百合夫のものは、祖母に比べてごつごつとして節くれだち、荒々しい癖の如き便塊である。

みちみちと、カルラの便を押し返しながらか、それは出口へと近づいてゆく。

「おおお、ち、力強いのが……わ、わらわのウンコが押し返されておるう！ た、たまたらぬ、わらわのウンコじゃのに、久方ぶりに尻をチンポで犯されておるようじゃあ！」

情欲に狂いきったカルラは、チンポなら何でも構わぬとばかり、目の前の己の亀頭にしゃぶりつきながら腰を振りわめく。

「んっ……そろそろ……外に出るでっ……よっ！ おばあさんのお尻っ、これで、犯してあげまっから……っ！」

「く、くるのかやっ！ わらわの尻穴、存分に犯すがよいぞ……っ！」

期待し、菊座を拡げて待つカルラの中へ、一度は出した便が無理矢理押し込まれてゆく。それだけでも、彼女には十分な菊座であったが……ごつごつと、百合夫の己とは異質な便塊が触れてくれば、期待で自らの顔に先走りを射精するように飛ばしてしまふ。

「んむっ……もつとひっこめるでっ！ なかなか入らないでつよう……！」

「す、すまぬ、ごうか、や！」

力を弱めれば、ぶすぶすと間の抜けた放屁の音が響く。

「そう、でっつ！」

「おほお！」

ぐぼっ、と放屁の隙を縫うように、一気にカルラの便を押し返し、百合夫の剛便が祖母の菊座を貫く。それはゆつくりと穴を解すようなものではない。荒々しい、一気に入り込む一撃だ。

「おふっ、ふお、ほっ、百合おほっ、もそつと、やさしゅう……っ！」

「大丈夫でつよっ！ これくらい、なーんてことないでつよっ！」

さらに力を込めて、ごつごつとした便塊をひりだす。

押し付けあう尻の間、百合夫のものは横に崩れもせずカルラの穴へと吸い込まれるように

入っていく。

「ほらっ、おばーさんもこんなに欲しがってたんじゃないでっかっ！」

「ちがっ、これはそなたに宿った神通りきゅうううう！」

「ずぬっずぬっ」と己の腸を犯して行く百合夫のもの。

ごつごつとしたそれに腸壁をかきむしられて、カルラはついに吐精してしまう。

己のものをしゃぶっていた淫乱祖母の口を、顔を、多量の精液が穢して行く。

「あひい……す……百合夫のウンコ、すこすきじゃあ！」

精液を放ちながら……カルラは残る精も放とうと、ついつい下腹部の奥に力を込めてしまった。

ただでさえ体格差のある二人。百合夫は体力のある方でもない。

何より、カルラは生き神様である。

本気を出されれば力の差は明らか。

「んひやあつ！ な、なにをすんでっ！ おばあさん！ ちよっ！ 聞いて！ 聞いて

くだたいっ！ はぎっ、ひい！」

しかし恍惚としながら己の精を搾る祖母の耳には届かない。

みちみちと糞便は再び押し返される。

カルラの腸を抉った百合夫の便が自らの腸を苛み戻り。

さらに、するりとしたカルラの便が百合夫の中へと押し入ってくるのだ。

自らのブレイキを止めてしまったカルラの出す量は、巨根に勝るとも劣らぬ体積である。百合夫の腸をみっちり押し広げ、それでもまだ入り込んでくる。

「へひい！ あひ！ ひやっ、ひやう！ らめれつう！ でっ、でりゅっ！ ウンコとい

つしよにせーえきでまっつう！」

腸内をみっちり占めてくる二人分の便の感触に、百合夫もたまたらず精液を放つ。

自らの髪と顔を精液でどろどろにしながらか。

カルラと同様、百合夫自身の力で便が一口气に押し出される。

が、カルラとして未だみちみちと多量の便を吐き出しているのだ。

びたびたと張り付きあう陰囊は、まだまだ互いが射精中であることを感じさせ。このセーフのできない排便が互いに続くことを示していた。

「んおつ！ ふあっ、うふうう！ まだ、まだ出ておるう！」

身をよじって排便に力めば、それだけ精液も大量に吐き出される。

ただでさえ射精量の多い祖母と孫のこと。排便の力みを込められた今回の射精時間は並大抵ではない。

「つ、ぎっ！ んひい！ ま、まけない……でつよう！」

ずるん！

百合夫の中で確かにそんな音が聞こえた。

同時に、百合夫の中を犯す便塊の太さが倍になる。

「んきや、ひあ！ なんでつかあ！」

ずるずると、どんどん便は倍の太さを得て行く。

それはそのまま、出口まで……百合夫の菊座を内側から、外から押し入る便で広がるそれを、倍の太さにこじ開けようとしていた。

「ひ、あ……、ウンコが、絡まりあつて、でつよっ！ ば、倍の太さなんて、無理でつよっ！」

百合夫の腹の中は絡まりあつて二本分の太さとなった便で、みっちり詰まりきり。

さらにそれは外にまで飛び出そうと、カルラの便を伝って……そうはさせまいとする



30
5417

百合夫の菊座をみちみちと内側から開こうとしているのだ。

しかし、百合夫が菊座に力を入れれば入れるほどに、奥から便を吐き出す力も強まる。百合夫の固く荒々しい便が内から穴を抜け、じりじりと外に出ようとしていた。

「はひ……はひ……どうしたのじゃ？」

ようやく射精も残り汁がとろとろとあふれ出すばかりとなったカルラが心配げに身を起す。未だ経験したことのない快楽とも何ともつかぬ感覚に襲われる百合夫のものからは、激しく精液が放たれており。

そんな様子に便に犯され満足しているのかと、カルラが目細めた瞬間。

「んぎよおおお！」

ぶぼつ、と激しい音を立て、絶叫する百合夫の尻から。

つながらるカルラの便に沿って這う蛇のように、百合夫の便がカルラの肛門を襲った。

「む？ な、なんひやぎやああああああ！」

絡まりあう蛇、二重の螺旋となった便が、カルラの菊座をみしりと押し広げ、足止めさえ受けず一気に腸内を這い進んでいく。

それは百合夫のアナルを押し開いた爆発力によってなお激しく。

茶色のDNA螺旋となってカルラの奥深くまで一気に貫いたのだ。

既に自らの便で拓かれていた腸とはいえ、それが突然倍の太さに変わるなど、カルラにとっても初めての経験である。

「おつ、おつ……うお……うお……ほお！」

「ひいゆ……ゆるめてえ！ ひ、ひつこめるでつよう」

絡まりあった二人の便は、互いに、何とか自らの便を収めようとするれば逆に、相手のものを引きずり出し、自らの奥へより太いものを導いてしまう。

たまらず外へ押し出そうとすれば、相手の側により長く長くなった一撃が襲うのだ。

使い馴れこなれた二人の菊座さえも、限界まで抜けられ、絡み合う二つの便にその粘膜と肉輪を擦られれば、二人して射精させられる。

絡み合う便に陵辱されあう二人は、まさに便辱の永久機関となって、限界まで互いに便を引っ込めては出し、引っ込めては出して。その菊座を激しく犯しあい、慰めあつたのだ。

「いやー。お腹がすかなかつたら、いつまでやってたかわかんないでつね……」

「うむ……部屋も昨日以上にすごい有様じゃな。天井板まで精液まみれじゃ」

夕食時。

屋敷を抜いてまで互いの尻を便で犯しあつた二人だが、腹が減つてはまぐわえぬとばかり、ようやく互いに腰を離し……ひつたりと螺旋型に絡まりあつた長便を、互いの腸からようやく外界へひり出したのだ。

「む……これは」

「ど、どーしたんでつ、おぼーたん」

そのひり出したものを、しげしげと真面目な顔で見る祖母。

「何、これはよい注連縄になりそうじゃ。一つ神木に巻いておくとしよう」

「えええ？ それって、さ、さすがにバチ当たりなんじゃないでつか？」

「何を言う。生き神様とその孫のウンコ、しかも神通力を帯びたモノじゃぞ。ありがたいに決まつておるわ。これは祭具として相等のものじゃぞ」

「そ、そーでつかねえ」

「ともあれ、まずは夕飯じゃ。食後にはちと、神木にこれを巻いてくるとしよう。来年

からも毎年、この注連縄を造るため、今日のやつを頼むぞよ、百合夫」

「ひや、ひやい……」

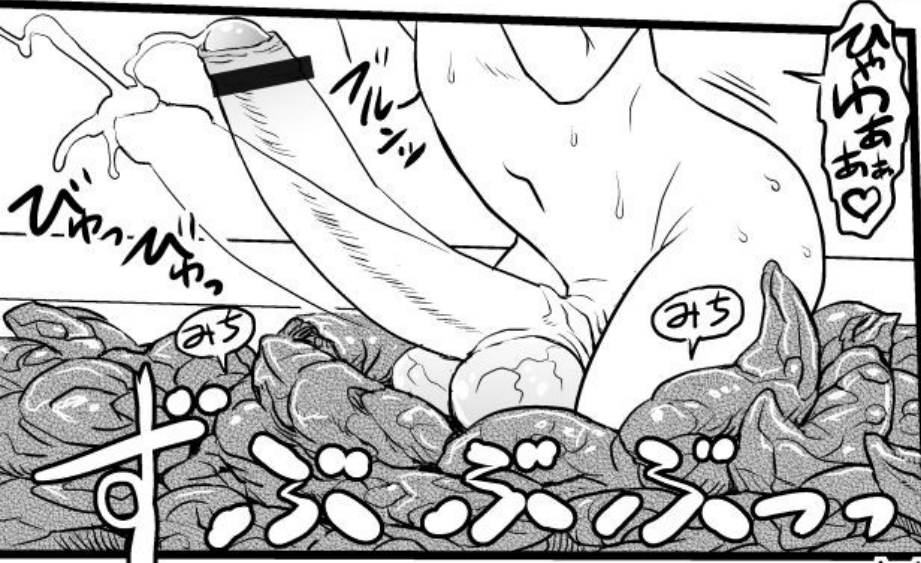
少しばかり、よくない方向に染めてしまったかもしれない……そう思う百合夫で

あつた。



とっちやり♡

ほっ♡ ほっ♡





そんなに悦んでもらえと出した甲斐があるのう♡

ほれっ♡
ほれっ♡

魔羅もちやんと悦んでおるかや?♡♡

うはあああつ!!!
これスゴイっ!
スゴすぎてうんち漏れちゃうっ!

ほんとに全身おぼあ たんのうんこに包まれて まつよおおおつ!!!

びしょっぽん

びしょっぽん

びしょっぽん

むぎりゃ♡

むぎりゃ♡

むぎりゃ

びしょっぽん



むぎりゃ

むぎりゃ

わらわも二ヶ月前から週一で入っておったからの... 美肌効果は証明済じゃ♡



のた

やっ
と落ちついた...

人肌ちよい高めのにじっとりした熱さにむっちりゴロゴロした感触が混ざり合って...

はふう...♡
これはきつと健康にもいい気持ちよさでつよお...





わ...わっ!
これって...!?

♡

百合夫が戻って
くるまでの間
式に相手をさせ
とってのう...

のっへらぼうじや
盛り上がりらんから
百合夫の姿をとら
せたんじやよ



さあ今から
わらわたちは...

糞チンポ専用の
肉便器♡
じゃぞっ♡





おおんっ♡
スゴイっ♡
スゴイっ♡

うんち大好きっ
一生うんちと
暮らしたいっ♡

んほっ

僕もうんちの
お嫁さんにな
るうううっ!!!♡

ぐわっ♡
ぬわっ♡



んぎいっ♡!!
ウンコしながら
入れられてるう♡

んぎいっ♡

ズルッ♡
ズルッ♡



わらわたちの
仲良し♡よしっ♡
なところを たっぷり
百合夫に見せつけて
やれいっ♡♡♡

おっほおっ♡
その調子じゃっ

ぐわっ♡

ぬわっ♡



おひいっ!!
うんこの子
モリモリ孕んで
しまっううっ!!

子宮の中までうんこ
いっぱいじゃああっ!!
孫の目の前で婆まんこ
寝取られてまっうんっ♡





いちゃ♡ いちゃ♡

なんじゃ？
なんじゃ？
百合夫

あのう…

やっぱり今でも
ポクのお尻に
入れたいでつか？



六日目

おばあたん…？



じゃ じゃあ
その前に一つ
お願いしても
いいでつか？

なんじゃや
なんじゃや

オモチャでも
欲しいのかえっ？
なんでもいうて
みいっ！



おっ…
おっ…!!

もちろんじゃ
百合夫っ!!
やっ種付けさせて
くれるのかえっ!!

がばっ



ふっ…

何を言うかと
思えば…

おばあちゃんが
断るとでも
思ったかえ？



あの…

えっと

ポ…

ポクも
おばあさんに
種付けしても
いいでつか…？





孫マラたまらんんツ!!!
これまでまぐわって
来た中で最高の
イチモツじやあツ!!!♥

おばあたん
マンコもすこい
でつよおっ!!!



早お孫の子種で
ガツツリ孕ませて
くりやれえつ!

ほりや種つ♥
種えつ!!!♥

孫の精子で
おばあたんに

可愛い赤ちやん
産ませちやい
まつううっ!!!♥

ほれっアへ顔
Wビース脱糞妊娠
アクメじゃぞおっ

今じゃっ!!
今っひ孫孕んだぞええっ!♡
デカ糞プリプリひり出しながらっ
百合夫の赤ん坊をじゃんじゃん
孕みまくっとする
ぞおおおっ!!!♡

見よんおっおっ
百合夫おっおっ♡

ごはああッッ♡
イグッイグッ♡
イッてまうらっ!!!



グッ♡グッ♡グッ♡グッ♡グッ♡グッ♡

ああー!!

ずっとガマン
してきたのに...
とうとう
やっちゃった...♡

生ハメ本気セックスで
実のおばあちゃんを
妊娠させちゃったあ♡

百合夫おっ
百合夫おっ♡





はい...おはあたん
いいでつよ ボクに
種付けして...♡

はあっ

はあ...

はあ

はあ

はあ



ゆ...っ
ゆくぞえっ!

ぐい

はあ...♡

みち...



ああ...
苦節五十余年...
ついに夢にまで見た

孫の尻穴で童貞を
捨てられる日が
来るとは...ッ!!!♡

はあ

はあ

はあ

ぬふううっ
これが孫息子を
征服した感触っ!!

百合夫っ!!!
今日からお主は
わらわの妻じゃ
お妾じゃっ!!
わかったなっ!!!

おぼあたんの還暦ちんぽ
たくましすぎまっううッ
こんな牡汁スツゴイ
年代物童貞に愛されたらっ
どんな純情な男の子でも
自動的にお嫁たんアナル化
しちゃうでっよおおっ!!!

あーッ♡
あーッ♡

ズグッ

ズグッ

ズグッ

ズグッ♡

かほっ♡
はっ♡

おほっ♡中で
糞のお出迎え
じゃっ!!

ぬ
おほっ!!

なんじやっ
わらわのチンポと
押しっこ遊び
したいのかえっ!?

ようっしっ♡
受けてたつぞえっ
ほれえりっ!!
おうえす! おうえす!!!

ズグッ

ズグッ

ズグッ

ズグッ♡

明日都会に戻る
なんて許さんぞっ!
お主はわらわの
妻なんじゃからなっ

おらっ!!!
くらえいっ!
結納代わりの
デカ糞じゃっ!!!

これでお主の
身も心も
わらわのもの
じゃからのっ!!

モリモリモリ

ズボン

ズボン

ほしっ

子供の名前は
二人からとって
百華合じゃっ

ほれッ今から
お主の安産尻に
百華合の種仕込む
ぞえっ

ああーっ!!! おばあたんっ
もう許してっ! しちやうっ
ケツ穴妊娠しちやうううッ!!!

ドッ

ズボン

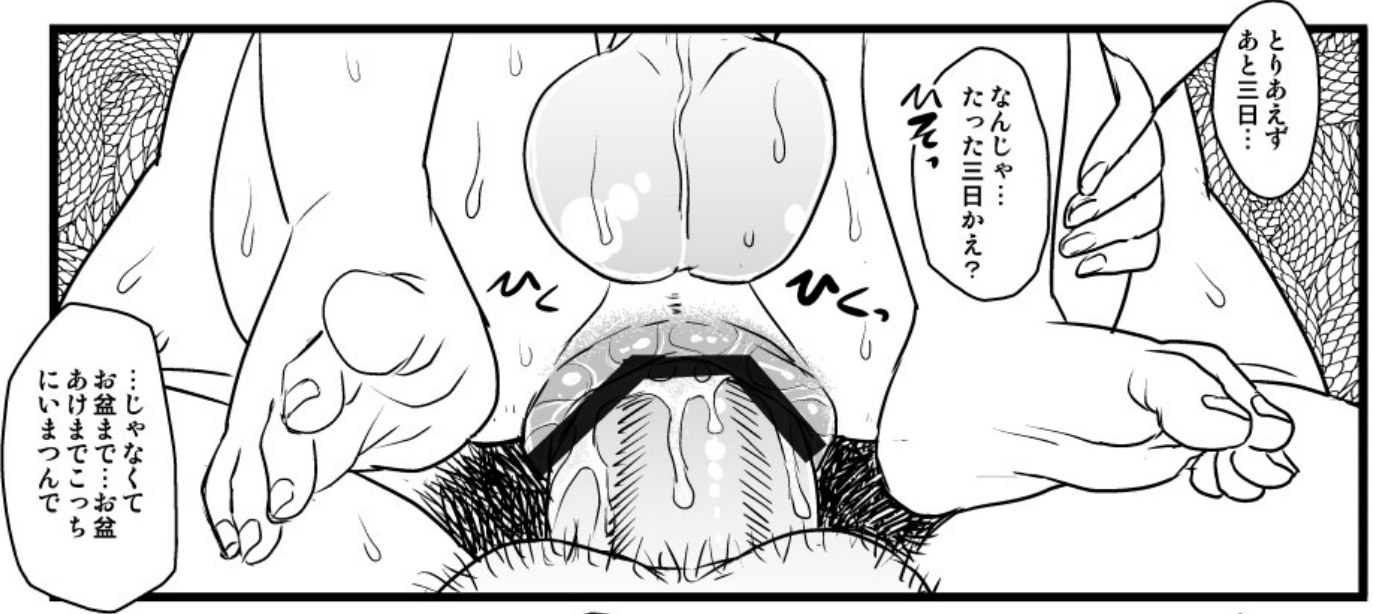
ズボン

ズボン

ズボン



七日目



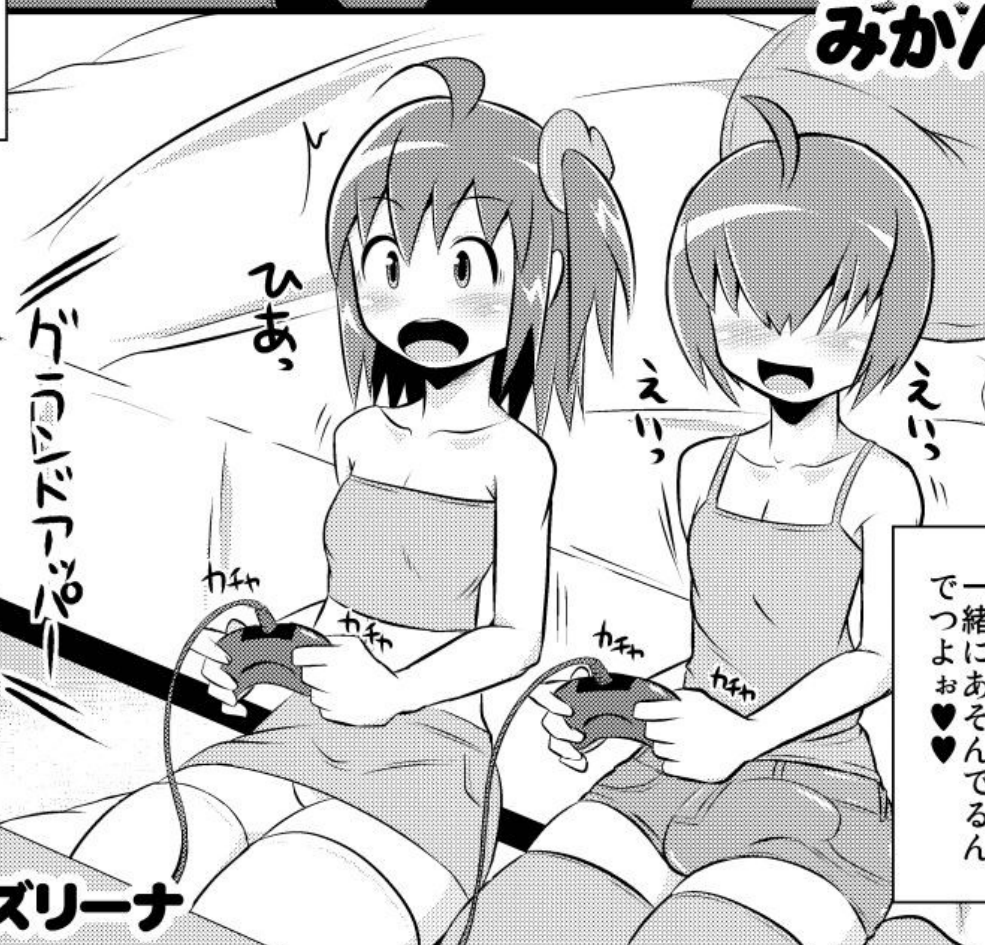
おこめ



16-BIT

百合夫くんと みかんきゅん

みなさんこんにちは☆
百合夫でつ~~~~♡



今日はお友達の
みかんくんのおうちで

一緒にあそんでるん
でつよお♡♡

by チンズリーナ



ああくん♡

あつ♡
カッコイイかも♡

おかまいなくてつー

愛しの
お兄さまああん♡♡



おーい

飲み物もってきたぞー

ほわ

ンホツ☆
噂に違わぬ
イケメンさん♡

みかんくんが
夢中になるのも
無理はないでつね♡

ちよつと味見
したくなってきたでつ♡

んんん♡

んんん♡



百合夫くん
ダメえ!

ちよっとボクと

カッコー♡

キーン♡

え〜♡

いいこと
しませんでつかあ♡

アハハ

お兄さまは
ボクの彼氏なのお!

アナルは浮気に
ならないでつよお♡

ホン♡

みかんくんの
お兄さんって

カッコイイん
でつねえ♡

お兄さんだつて
ボクのデカチンに

興味津々みたい
ですしい♡

ふおおお♡
スケベなデカチン♡

アハ

もうっ♡

ボクのウンチ穴
見てえ♡♡

ねえ♡
お兄さまああん♡

おしりだったら
ボクのほうが大きいもんっ♡

ンホッ♡
弟のデカケツ♡♡

アハハ

ほっ♡

アハハ



ねえ、お兄さまあん♥

アハっ♥
うんちでつねえ♥

ウンチ近くでいっぱい
見せてあげるですよお♥

ボクもいっぱい
見せてあげるですよお♥

お兄さまの為だったらあ
ボクう♥

着替えた♥

えっ!?

えっ!?

あつ、ダメえ!

お兄さまはボクの
ウンチナメナメで
ドツピユン
するのにお♥♥♥



お兄さま♥

ボクのお愛
受け取ってえ♥♥♥

マジか!?

マジなのか!?

らくですよお♥



~~~~~の♡♡の♡♡

~~~~~せ

★END★

あつ♡
とても幸せそうな
顔でつねえ♡

でもどっちの
ウンチで
ドツピエンしたか

わからない
でつねえ…

お兄さまの
浮気者…!!

さるピク所属
ドミニク

な・ん・と

みんな元気？
ドミニク☆ちやんねる
本日は特別ゲスト！

カルラさん

百合夫の
おばあちゃん
カルラさん！

いやー
すごいですねー♡

こりや！
レデイに向かって
たれとはなんじゃ！
たれとは！

たはは

スニッ

まったく悪い子じゃ
ここもこんな
してからに

さすが百合夫の
おばあちやまですよ
まさに貫禄の
どデカ尻と垂パイ！

三子

三子

おはは

へへ……♡
カルラさん
お尻突き出してみ
てくれますか？

ふむ

どうなの？

ぽんぽん

カ
ラ
ラ

今度別件でこれで
僕のおしり可愛が
って欲しい……♡

は……♡
この重量感
すごい……♡

ふむ
百合夫の友達の頼
み考えておくと
しようかのう♡

ぽんぽん

じゃあ準備
しますね……

んほっ♡

グニ

グニ

おおお♡

たいした
舌づかいじゃ
一体何人っ……
ほほおおっ♡

おふっ♡

まったく
未恐ろしいぞえ

男を責めてくれば
こうなるのやら♡

臭

臭

おっ

おっ

ほおおおお

おんごお
おお

グ

グ

グ

グ

グ

グ

グ

グ



あおお...
あおお♡

じゅんじゅん♡...♡

ミチ
ミチ
ミチ

ぶるん



うふふ
うまく入り
まったね♡
ハマア

キュッ



あ♡



これを脱糞
したてのゆるゆる
こーもん♡にい...



できたくー!

特大サイズ
コンドームの
うんこデイルドゥー!

じゃーん!
じゃーん!

でーん

あ——！
産みたてうんこが
ボクの腸内なかに
還ってきたあ！

これって胎内回歸でつかっ
むしろ近親相姦でつかあ

坊やっ♡
ママの腸内なかで
いっしょに甘えて
いいでっしょあ♡

あひこ♡
ミルクでちやう♡
おちち嘔いちやい
まじっ♡♡♡

なかななか
よかった
でっあ♡

ビキ

ビキ

ヌ
ボ

びるる♡

ゴ
ゴ

ト
ゴ



「先輩の誕生日は何でも
言うこと聞きますぅ〜」とか
このあいだ言ってたじゃないかー

せっ
先輩っ!?

うーん
いい眺めだなあー

でも
こっこれはー!



はっ
おっ

ちぎっ
……って

可愛い後輩の
うんこお……

ああ……

駄目ですってば先輩!
やだっちよっ……
こらあ〜!



んん!!

んん!!

はっ

はっ

んん!!

んん!!

んん!!

んん!!

はっ

はっ

ちょ…
だめえツ!

健康便でもあの量は
堪えるなあ…

ほっ
ほっ

じゃあ
そろそろ…

ウンコ喰われて
チンポバキバキに
してる奴の…

んああっ♥

言う事かっ!

んおおッ!

そんなに
前立腺イジめたら...

前からも凄いの
出ちゃいましゅッ!

あッあッ

ヒッ
ブルッ

ヒッ
ブルッ

え...
遠慮しますう!!



じゃあ
今度は私のを...

んんんッ!
んほおおおッ!!

早くひとりで
ウンチができるように
なってほしいんだけどなあ。

ね、ねえ
聞いてるか？

カキカキ
カキカキ

カキカキ

すっ
て



ビチャ♡

ビチャ♡

ジュホッ

ジュチュッ♡

ジュチュッ♡ 完

んう~~~~~

祀の事の最中といえど

脱糞の気にはかなわんのお

皆は舞の出し物に夢中じゃろうし

この**御神木様**の裏に隠れて…

ぽんぽんぽんぽんぽん

ふおおおっ!?

なんちゆう勢いじゃあ!! 尻の穴が

はみ出ちったわい!

この感覚はクセになるのう♥

青空脱糞とな 酔狂なものを知ったのう♥

なんとも立派な

巻き糞 じゃ♥

『ゆるさんぞ…』

ん??



「今までのふしだらな業を
忘れたとは讀わせんぞ!!!」

「その身を持って
償うがはいッッッ」

え?
何じや……

「貴様が我が地にはらまいた業を
存分に喰らうがよいぞ……」
『因果応報、也』

!!UNN!!

ずるっ

ずるっ

ずる

ズルッ

んびん!!!
熱しん!!!

ずる

ずる

キョッ

ヒッ



ニヒル
ニヒル

ニヒル

ゴッ
ゴッ

ゴッ
ゴッ

ゴッ

ゴッ
ゴッ
ゴッ

おん... ゴッ...
腹の中が蠢く回りのゴッなかな...
いや 自分が糞物じゃないかと
思っはっ「体」染め込んだ
「ゴッ」...

...キントイヤないかもしねな♡

あら？ごきげんよう
躑宮眩ですわ。
これからお茶会に持参する
お菓子の材料を用意しますの。
味見でもしていきませんか？

よい…しよつと。

フツッ

え？なんで皿を床に置くのか？
そんなの決まってますわよ
だって出しずらいでしょう？

!?

あっ！...おっ！おうひっ！
こ、このおウンチのビターさが...ああっ！
お紅茶によく合ふうっ！
...んですのよおっ！ おぐほおっ！

んひいっ！

おお...おおおっ！んおおっ！
フリフリyumフリユリユッ
出るっ！まだ出るうっ！
フリフリピブリュッモリモリッ
おぐあっ！...はひいっ！
フリフリプリッドチャドチャブチャッ

おふおっ！で、出るっ！
眩のくっさいお大便弾け出りゅっ！
おもくそ下排便しちゃいますからあっ！
んっふうううっ！

はっ...ひい...ひああ
(...フリユビッ)
おぐあっ！またあっ！
フリフリピブルブルッ
うっくあ...こんなにい...
はあはあ...
ふふっ、言わなくてもわかってますわ。
たんと味見して構いませんわよ。



ああ

はああ

んおお!
これで5発目だ!
くらえっ!

んあああ
ご主人様
そんな激しくしちゃう
あはああ

さあ今日も
いっばい
出るんでしょ

そんな
ご主人様あ

千んポが全部
入らないくらい
テカくてカチカチ
のが当たってた
もんねえ

ほらっ見せてみなさい!
おっほっ精子まみれの
ガチガチうんこ降りてきてる
じゃん!

やあん!

ご先祖様に倣って真面目な
藍狐も前は処女同然なのに

こんな従順なのに
ご先祖様は
手出さなかったなんて
もったいないなあ

ご先祖様は
非常に真面目で...

肛門ガバガバの肛門アクメ
大好き娘だもんねえ

それは
ご主人様があ

んなことより
早くひり出してよあ
早くっ早くっ

っうう
し仕方ないですねえ

はやおおおお!

おわお出た出た!
ひり出しながらイってう
あたしのチンポより
ぶっといくて長いのが
そんないいんだっ

ああああ
は恥ずかしい

なあにが恥ずかしいよ
普通の交尾じゃ
もの欲しそうなの
目で見てくるくせにっ

ご主人様が
仕込んだんじゃ
ありませんかあ

フフ!
じゃあさ
肛門交尾大好きで
脱糞でイっちゃう
肛門狂いの淫乱女です
って言うてよ

だっていくら
仕込んだからって
まさか脱糞で
イっちゃうなんて
思わなかったわ

え?

やっぱり元々
肛門弄られるの好き
なんでしょ?
だからぶっさいの
出すんでしょ?

そんな……(ry)……

とんだけ
出すのよ
エロ過ぎるわ

はうっ……

はほっいいいよっ
抑えらんないわ
しほらく肛門
閉じられなく
してやるわ

私は……

肛門交尾……大好きで
脱糞でイっちゃう
肛門狂いの
淫乱女ですう

その前に
まだ中に残ってる
んでしょ

残らず
ぶちまけさせて
あげるっ!

ねえねえリタあ：
ホントにエッチな事
するだけでボク達
やせるのかなあ？

そりゃあやせるわよ
要は運動して汗を
流せばいいんだから

どうせ体を動かすなら
楽しく気持ちよくした方が
フィノもいいでしょ♥

まずはパイズリ
ダイエットよ♥

フィノ
ランドレース種の豚とエルフの交配で産まれた
ブタエルフの少女。両性具有の稀有な存在で
品種改良の交配豚として重宝されている。

ダイエットは普段使わない筋肉を使う事でも効果があるの括約筋を鍛えてやせましょう♡

かつやくきん?
どこの筋肉なのか
ボクわからないよ?

フィノ、括約筋はね
うんちする時使う
筋肉の事よ♡

フィノが上手に括約筋の
運動をできてるか
確認しないとイケないから

私がうんち
するところ
見ててあげる♡

このままの姿勢で
いいから思いつきり
うんちしてね♡フィノ♡

うんちが途切れないように
括約筋をコントロールしながら
上手にしないと駄目だよ?

私の顔を便器にして
極太一本糞ひり出して

わ、わかったよリタ
ボク恥ずかしいけど
リタと一緒に
ナイスバディになる為
頑張るよ!



んほおおおおおお
うんこおおおお
フィノの極太うんこ
ミチミチ出てきたあ

はにゃああああ♡

リタの顔に向かって
うんちひり出すの
すっごい興奮するよあ♡

リタ♡リタあ♡
ボクやばいかも♡

リタの顔にうんちするの
最高でやみつきに
なっちゃったかもあ♡

私なる♡今日から
フィノ専用のおトイレになる♡
フィノのおしっこもうんこも
全部受け止めるよ♡

だからもっともっと
私を好き勝手使って
気持ちよくなっ♡
て♡
フィノ♡

すっごいよリタ！
ボク本当に
やせてきた
気がするよ！

それじゃあ
最後の仕上げ
始めましょ♡

ビクン

シル

リタのうんこ♡
ズンツてボクの
金玉にい♡

金玉のザーメン♡
うんこの重みで
押し出されるう♡

ほああ♡フィノに
膣中出しされながら
脱糞するの最高お…♡

またしようね♡
フィノ♡

おわお

ビクン♡
ビクン♡

ピル

ピル

おわお
おわお
おわお

おわ

おわ

おわお

ビクン

いい汗
かいたね♡

ボクおなか
すいた♡

ウフフ…

そうねえ
ご飯食べに
行こっか？

焼肉食へ放題
とかどう？

焼肉サイコー！
ボクいっぱい
食へちゃうぞ♡！

アハハ…

1ページ目に戻る
おわり

お尻の…穴が捲れて…

ん…出る…わ…

うんちが…でちや…う…



うんち…ひり出してる…
こんなに沢山…

ブル

ブル



ほら、あなたのお尻の穴に
私のうんこがたっぷり出てるわよ
温かいうんこがお尻の谷間に
満ちていくのがわかるでしょ？



私のうんこを擦り込んで
あなたのお尻の穴に詰めてあげる
それから私のちんぽまで送り込んで
私のうんこをあなたのお尻の奥まで
混ぜ合わせて出来た二人の赤ちゃんを
排泄するのよ



後書き

こんにちは。ラヂヲヘッドですよ。
今回はついに念願のスカトロ本を出すことができました。
スカトロだけでここまでボリュームを出せたことに自分でも驚いています。

今回スカトロを描くにあたってラヂヲヘッドが腐心したのは、排泄物の不潔感を過剰に演出しないということでした。実のところうちはスカトロマニアとしてはかなり徳が低く、下痢軟便NG、具体的な匂いの説明もNG、不潔フェチ的な要素もNGというかなり限定的で軟弱なスカ好きなのであります。

ラヂヲヘッドにとって排泄行為、および排泄物は、SM的な恥辱プレイでも、精神的な調教の一部でもなく、あくまでそのものでしかありません。排泄物と排泄行為が好きだけで、それらに付随してくる不衛生さ、不潔さ、悪臭などはむしろ嫌悪したりしています。なので、排泄物が不潔でなければそれに越したことはないのですが、かといって擬似うんこを詰めて排泄とか、うんこ以外の何かを排泄することには、これまたさっぱりエロスを感じなかつたりします。やはり体内で生成された物体というものに対してエロスを感じるのであり、そういう意味で、うんこというものは、自らを内側から犯すペニスなのではないかと考えております。下痢軟便や液状の排泄物が苦手なもの、つまりところ汚染がカオスに拡散しないように固形を保っていてほしいということと、便がペニスとしての実体を保ち続けていてくれなければエロスを感じないということなのではないかと思えます(例外的に握りつぶしたりするのは好きなんです、塗糞するにせよやはり便が便としての自己主張を失うほどまで薄く塗り広げるのはあまり好みではありません)。だからこそ、極太であり、長大であり、大量である一本糞にひたすらこだわるのでしょう。

とまあ語ろうとするとそれこそ10pくらいに渡って語ることも可能なのですが、そろそろこらへんにしておきます。このようなかなり限定的な縛りのある本に参加して下さったゲストの皆様には感謝してもしたりません。これほどの物量でスカトロ作品が一堂に会することも同人ではなかなか少ないことと思えますので、ぜひ各作家のスカトロに対するアプローチの差を見比べて楽しんでみてください。

2011.8.4

奥付

発行日 : 2011.8.14
発行者 : 革命政府広報室
印刷所 : PICO

連絡先 : parano@jcom.home.ne.jp
HP : <http://www.radio.sakura.ne.jp/>
Twitter : Radio_paranoia
Pixiv : <http://www.pixiv.net/member.php?id=4122>

